

## 「生活スキル向上プログラム」のご案内

平素より杉並区障害者雇用支援センター（就労移行支援事業所／以下「センター」）の運営に、ご理解・ご協力をいただき感謝いたします。

今回は当センターが令和2年6月より実施している生活スキル向上プログラム（以下「プログラム」）についてご案内いたします。

このプログラムは、将来的に就労はしたいけれど、まだ体力的に就労活動を進めたり、障害福祉サービスへの利用に自信が持てないという方を対象に、一定期間センターのプログラムに参加しステップアップを図ってもらうことを目的として始めました。

現在関りのある保健センターや各すまいる、特定相談支援事業所等から紹介を受け、当法人に登録をしていただければ誰でも参加できます。センターの独自プログラムであるため、杉並区が支給決定する障害福祉サービスとは異なり、区への手続き等は必要ありません。

利用期間は半年間で、ご希望の曜日を週2日選んでいただき、通所してもらいます。内容は基本的に訓練生と同じプログラムを経験してもらいますが、状況によりプログラムの変更も行っています。現在までに10名のご利用があり、知的障害、精神障害、高次脳機能障害の方が各3名、発達障害の方1名と各障害の方々の参加をいただいております。これまでに5名の方が、利用後就労に繋がっています。

参加された方より、「家から外に出るきっかけになった」「プログラムに参加することで、生活リズムができた」「PCスキルが向上した」「他者との話がスムーズにできるようになった」「就労移行支援事業所に通所できるようになった」等の感想をいただき、スタッフとしても大変うれしく思います。

お問い合わせや見学は随時対応させていただきますので、ご連絡お待ちしております。

## ワークサポ広場を開催しています

ワークサポート杉並の定着支援を受けながら就労している、主に知的障害の方に向けての余暇支援活動「ワークサポ広場」（毎月第1・第3金曜日 障害者福祉会館第1・2会議室）は、コロナウイルス感染の状況を踏まえ、本年度もA・Bの2グループ（定員各25名）に分け、開催時間を19:00～20:00に短縮して行っています。

未だに感染の終息は見えませんが、このような時だからこそ余暇活動を望まれる声が多く寄せられております。全国的に感染者数が増加傾向にありますが、今後も感染状況の確認と予防を徹底して開催してまいります。





## 雇用支援ネットワーク会議「実務担当者会」 を実施しています

杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議「実務担当者会」を毎月第2火曜日16時30分から18時30分までワークサポート杉並の会議室で行っています。



「実務担当者会」は杉並区との共催で実施し、作業所等の施設や関係機関と事例検討、企業見学、講座などの機会を通じて、障害者就労・雇用に関する情報の共有や就労・生活に関わる一体的な支援を行うための連携を図ることを目的としています。



令和4年度第2回実務担当者会では、B型事業所から就労した方について事例検討会を行いました。  
グループワークを通じて「働き続けるためにはどうしたらよいか？」をみんなで考えています。

## 知的障害の方の交流会を開催しました

定着支援を受けながら就労している知的障害の方が集う交流会を6月4日（日）ワークサポート杉並の会議室で開催しました。今回もできるだけ多くの方にご参加頂けるように午前、昼、夕方の3部に分けて、各部定員18名としましたところ、定員いっぱいの54名の参加を頂きました。コロナウイルス感染予防対策を徹底し、ゲームの前後の手指消毒も毎回行いました。



新ゲーム「間違い探し」は、モデル役に立候補した仲間が、変身用アクセサリやカバン、帽子やエプロンなどを身に付けて登場し、どこが変わったのかをみんなで当てるゲームです。「帽子はかぶってた?」「サングラス!」と皆さん真剣に考えていました。

最後は恒例のビンゴ大会。景品を手「楽しかった。次はいつ?」と笑顔のみなさん。次回も感染予防に注意しながら、楽しい交流会を開催していきたいと思います。



### 就職しました（4・5・6月）

一般事務・事務補助 14名 軽作業 1名 社内メール便の集配 1名 観葉植物の管理・発送 1名

計 17名